

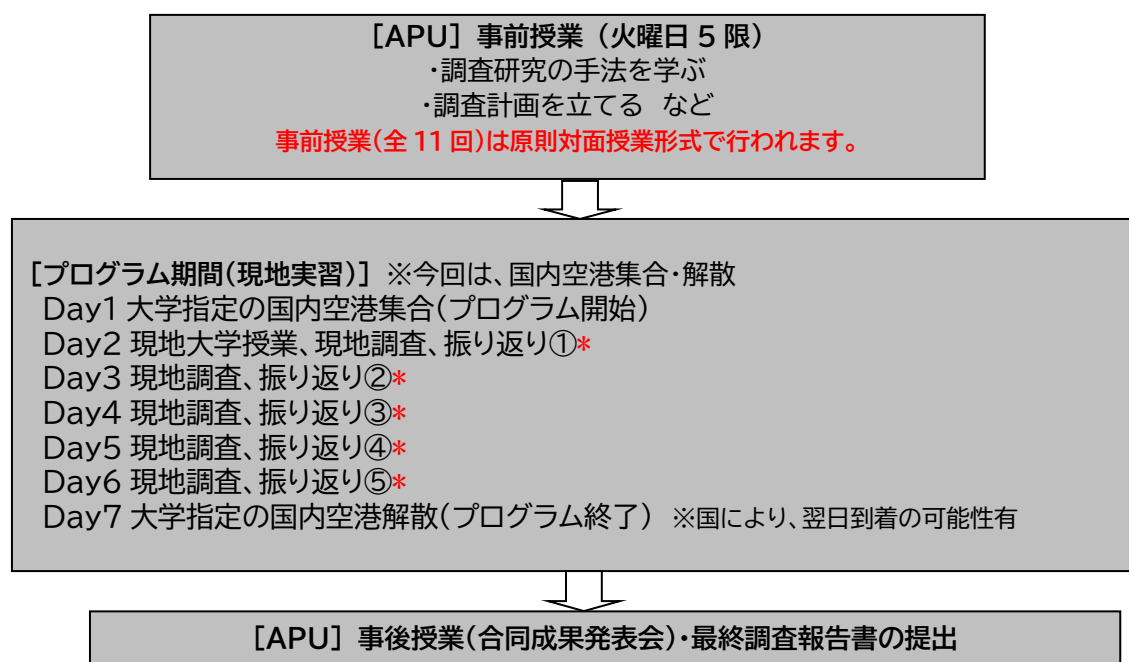
2022 年度秋 semester 派遣
APU グローバルリサーチプログラム (AGR)
募集要項



立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス
第1版
(2022年7月4日)

APU グローバルリサーチプログラムとは

研究調査手法や研究調査計画書策定手法を実践的に修得し、卒業論文を含む大学での学修や、卒業後の大学院での研究や企業等での調査研究活動に活かす能力を形成することを目的としています。本プログラムでの実際の調査研究活動を通じて、各自が深めたいテーマに関する研究調査報告書を作成し、学部でのより深い学修・研究への足がかりとなることを狙いとしています。



【2022 年度実施内容】

科目名	2017 カリキュラム APS フィールド・スタディ 2011 カリキュラム フィールド・スタディ
集計分野	2017 カリキュラム APS 生:APS 専門教育科目、APM 生:他学部科目 2011 カリキュラム APS 生:APS 専門教育科目、APM 生:自由選択
登録方法	科目の履修登録は大学が行います
開講言語	日本語
単位数	2 単位
担当教員	轟 博志 教授(APS)
semester	2022 年度秋semester
成績評価	A+, A, B, C, F
成績発表時期	2023 年 4 月(2022 年度秋semesterの成績として付与されます)
履修上限	履修登録科目上限単位数に含まれない
授業形態	派遣
派遣可否判断	<ul style="list-style-type: none"> ・現地派遣可否の判断は 2022 年 11 月下旬に行います。 ・現地派遣中止判断日もしくはそれ以降の現地実習開始までに、調査実習地が外務省危険情報レベル 2 以上になった場合、現地派遣・実習を中止します。(派遣国毎に判断) ・派遣中止が決まった場合は、追加授業を 2 回(原則オンライン)実施します。 ・現地実習中にレベル 2 以上に引き上げられた場合、教学部と担当教員が協議した上で帰国判断を行います。

【各派遣地詳細】

- ・ 募集人数:各派遣地 15 名
- ・ 最少実施人数:各派遣地 5 名

実習地	研究テーマ(例)	担当教員	期間 (2023 年)	プログラム費用(目安)	
				派遣可	派遣中止
韓国 (ソウル)	ソウルで調査できること。 韓流文化研究、地理、社 会、韓国史、政治等、韓国 学全般。	轟 博志	3/12(日)~18(土) (現地実習: 3/13(月) ~17(金))	120,000 円	18,000 円
イギリス (ロンドン)	ロンドン周辺で調査でき ること。英国学全般、持続可 能性、医療、社会、文化・歴 史。	MEIRMANOV Serik	2/15(水)~22(水) (現地実習: 2/16(木) ~20(月))	350,000 円	0 円
ベトナム (ホーチミン)	ホーチミン周辺で調査でき ること。ベトナム文化、言語 など。	田原 洋樹	2/26(日)~3/4(土) (現地実習: 2/27(月) ~3/3(金))	180,000 円	2,000 円

- ※ 11 月中旬の受講者ガイダンスにて、確定したプログラム費用をお知らせします。
- ※ 海外渡航需要の高まりや円安の影響で、上記記載の目安額を上回る可能性があります。
- ※ 11 月下旬に現地派遣可能と判断されたものの、その後の状況によって派遣中止の判断がされた場合、それまでに発生した費用(航空券のキャンセル費等)は、原則学生本人の負担となります。
- ※ 現地宿泊施設は、2 名 1 室を原則とします。

- ・ プログラムに要する費用の内訳は以下の通りです。

プログラム費用に含まれるもの	プログラム費用に含まれないもの (自己負担するもの)
渡航費、現地宿泊費、プログラム運営費、事務手数料	現地携帯電話手配費用 ^{*1} 、ポケット Wi-Fi ^{*1} 、食費、ビザ取得費用(必要な場合) ^{*2} 、海外旅行保険、J-TAS 費用、日本国内及び現地交通費、予防接種費(希望者のみ)、PCR 検査料(必要な場合) 他

※1 現地携帯電話手配費用とポケット Wi-Fi はグループで最低 1 つずつ準備する必要があります。

※2 新型コロナウイルスに起因し、国籍問わず参加者全員がビザを取得する必要がある場合、大学が代理でビザを取得する可能性があります。この場合は全員にビザ取得費用が発生するため、別途ビザ取得費用のご案内を致します。(派遣国による)

募集概要

申請について

- ・ 当プログラムへの申請は、同じ興味・関心を持った学生同士の 2-5 名でのグループ申請を条件とします。
※1名での申請を希望する場合は申請前にアカデミック・オフィス AGR 担当者へご連絡ください
- ・ 申請はグループ単位ではなく、全員が必ず個別の申請手続きを行ってください。
- ・ 複数実習地への申請が可能です。ただし、合格時に一つの派遣先を大学が指定します。
- ・ 学生のプログラム期間中の行動(私的行動を含む)はグループで行います。ただし、感染予防の観点から食事は個人でとり黙食に努めてください。

申請要件

- ・ 申請時(2022 年度春 semester)に、2~6 semester であること
- ・ 2022 年度秋 semester 中に「通常在籍」であること
- ・ 2022 年度秋 semester が最終 semester(2023 年 3 月に卒業予定)ではないこと

- ・ 本プログラムは1度参加後、再度の履修はできません
- ・ 事前授業(全11回)・事後授業に参加できること
- ・ 危機管理ガイダンスに参加できること
- ・ プログラムに参加するにあたり、**日本出国・日本帰国**ができること(派遣国以外の国への渡航は不可、大学指定の国内空港集合・解散となります)
- ・ 2-5名でのグループ申請ができること
- ※1名での申請を希望する場合は申請前にアカデミック・オフィス AGR 担当者へご連絡ください
- ・ プログラムへの参加が決定した場合、以下①②のどちらかを満たした上で、海外渡航者用接種証明書(ワクチンパスポート)を取得できること
 - ① 新型コロナウイルスのワクチンを3回接種している
 - ② 新型コロナウイルスのワクチンの2回目接種日から派遣最終日が半年以内である

申請方法

申請期間中に[アカデミック・オフィス Web サイト](#)からオンライン申請してください。

- ・ オンライン申請ページは、募集期間開始と同時にアカデミック・オフィス HP 上に公開します。
- ・ オンライン申請のプロセスで以下が必要になります。予め準備の上、申請してください。
 - (1) 志望理由
 - (2) パスポートの顔写真ページ(未取得の場合はその旨、申請ページ上で申告してください。)
 - (3) グループ名(予めメンバー同士で話し合い、決定しておいてください。)
 - (4) リサーチ・トピック(予めメンバー同士で話し合い、決定しておいてください。)

申請期間:**2022/7/6(水) ~ 7/22(金) 14:00**

パスポートについて

- ・各国の定めるパスポートの有効期限を確認し、現在持っているパスポートが派遣国・地域が指定する期限を満たしていない場合、速やかに更新手続きをしてください。
- ・パスポート未取得の場合は、2022年9月末までに取得できるよう、申請方法を調べて取得してください。

パスポートコピー/顔写真のアップロードについて

ファイルは、以下の例に習ったファイル名で保存した上で、アップロードしてください。

- [パスポート] Passport_氏名_学籍番号
(例: Passport_YamadaTaro_11223344.pdf)

【注意事項】

プログラムへの参加が決定した場合、「[誓約書](#)」をオンライン提出していただきます。

申請の時点で、必ず保証人の同意を得た上で申請してください。

誓約書: 申請者本人、及び保証人両者の直筆署名が必要です。

選考方法

- ・ 書類審査・学修状況・面接審査による総合的な選考を行います。
- ・ 面接審査は書類選考後に必要と判断された場合のみ実施します。

募集ガイダンス日程

【第1回】2022/7/6(水) 16:10 - 17:10(ハイブリッド形式) F103 教室か Zoom
 【第2回】2022/7/11(月) 18:00 - 19:00(Zoomのみ)
 Zoom ミーティング ID: 949 4896 6888

選考結果発表

2022/9/15(木)午後
 Campus Terminal「あなた宛ての重要なお知らせ」で通知

受講者ガイダンス ※受講が決定した場合出席必須

2022年11月中旬（予定）詳細は後日連絡

危機管理ガイダンス※受講が決定した場合出席必須

2023年1月中旬（予定）詳細は後日連絡

参加条件

【注意】基本的な参加条件は巻末添付「プログラム共通事項」に記載しているため、必ず確認した上で申請してください。本プログラム独自の参加条件を以下に記載していますので、熟読した上で応募を検討してください。

1. 経費

プログラムに要する費用

- ・プログラム参加にはプログラムに要する費用を支払う必要があります。費用は海外渡航需要の高まりや円安の影響で、上記の目安額を上回る可能性があります。
- ・プログラムに要する費用や支払い期限は、11月中旬の受講者ガイダンスにて通知します。（支払い期限は11月下旬を予定）
- ・支払い期限までに支払いがされない場合、支払い期限日翌日を以てプログラム受講資格が取り消されます。その場合、「参加辞退」と同様の扱いとし、既に発生した費用は学生本人が負担し、成績評価は「F」となります。
- ・新型コロナウイルスの影響で、規制がかかり入国できない可能性や、入国のために別途費用が発生する可能性があります。その際に発生する費用は、原則自己負担となります。
- ・11月下旬に現地派遣可能と判断されたものの、その後の状況によって派遣中止の判断がされた場合、その時点までに発生した費用（航空券のキャンセル費等）は学生本人の負担となります。

2. 参加において必要な手続き等

航空券・渡航

- ・航空券は大学が手配します。
- ・渡航経路は日本出国・日本帰国とし、担当教員、他参加者と共に渡航・帰国します。
※各国の新型コロナウイルス感染状況が異なる中、国によって入国制限の条件が異なる他、確実に参加者が安全に出国・帰国することを最優先に考え、**今回は現地集合・現地解散は許可しません。**

新型コロナウイルスワクチン接種・PCR検査について

- ・新型コロナウイルスワクチンを①3回接種している、もしくは②2回目接種から派遣最終日が半年以内であることを参加条件とする（ワクチン接種証明書の提出が必要）。
- ・プログラム開始日（国外の場合は搭乗時間）から72時間以内にPCR検査もしくは抗原検査を受診し、アカデミック・オフィスへの検査結果を報告する必要がある。陰性であった場合にのみプログラムの参加を認める。（詳細は危機管理ガイダンス等で連絡）
- ・派遣国によって陰性証明書の提出、検査種類または実施日時の指定がある場合には、その指示に従うこととする。

実習中の危機管理・健康確認

- ・実習中は常時のマスク着用を義務とし、感染予防対策を行う。
- ・毎日朝・夜に体温チェックを行い、風邪等の症状がある、または37.5℃以上の熱がある場合、引率教員に報告する。

3. 注意事項

選考結果発表後の辞退について

- ・派遣中止となりオンラインに切り替わった場合の辞退は認めませんので、その可能性があることを十分理解した上で申請してください。
- ・2名のグループにおいて、1名がやむを得ない事情で参加を辞退した場合、残る1名については以下

の選択肢が認められます。

(ア) 自らが設定していた当初の研究テーマとは興味・関心の異なるテーマで実習を行う可能性があることを理解した上で、異なるグループに合流し、プログラムへの参加を続行する。

(イ) 担当教員と相談の上、参加辞退を認める。その場合、大学が履修科目登録の削除を行う。キャンセル料については、[巻末添付「プログラム共通事項」の6.キャンセル料について](#)に準ずる。

履修計画について

同時期に実施される他の Off-campus Study Program において、現地実習の日程が重複している場合は、複数に参加することはできません。

スケジュール

日程	内容
2022年	
7/6(水)	募集開始
7/6(水) 16:10 - 17:10	募集ガイダンス 第1回目(ハイブリッド形式)
7/11(月) 18:00-19:00	募集ガイダンス 第2回目(オンライン形式)
7/22(金) 14:00	募集締め切り
9/15(木) 午後	選考結果発表 (Campus Terminalにて通知)
10月-2023年1月 (火曜5限、全11回)	APUにて事前授業 (日程は以下の通り) 10月25日 11月1日、8日、15日、29日 12月6日、13日、20日 1月10日、17日、24日
11月中旬	受講者ガイダンス(プログラム費、予防接種、保険加入手続き等)
11月下旬	プログラム派遣可否判断
11月下旬 (予定)	プログラム費支払い
2023年	
1月中旬	危機管理ガイダンス (詳細 後日連絡)
2月~3月	現地派遣可の場合:現地実習 (各派遣国)
3/26(日) 17:00	プレ調査報告書提出締切 (manaba)
3/27(月) 5限	事後授業: 合同成果発表会
3/28(火) 17:00	最終調査報告書提出締切 (manaba)
4月	履修科目登録、成績発表

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後にご案内します。

問い合わせ先

APU アカデミック・オフィス (B棟1階)

担当者: APU グローバルリサーチプログラム担当(下村、伊東、井戸沼)

T E L : 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102

Email: atfs@apu.ac.jp (お問い合わせの際、件名に「AGR」とご記入ください。)

プログラム共通事項

1. 査証(ビザ)

出発から帰国までに必要となるビザを確認の上、学生本人の責任で申請してください。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各大使館のホームページ等で各自確認してください。なお、ビザ申請要件は予告無しに変更される場合がありますので、最新情報を入手するようにしてください。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、ビザ発給国の定めにより渡航前にビザを取得できない場合以外は原則認められません。

万一、所定の期日までにビザが取得できない場合は、派遣・留学は取り消しとなります。また、派遣・留学開始時期の変更等はいりません。

その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

【国際学生のみ】

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の条件を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、チューデント・オフィスで確認してください。

注意)プログラムによってはビザの申請を代行会社に委託している場合があります。詳細はプログラム担当者に確認してください。

2. 保険

個人で既に加わっている場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、事前授業又は参加者ガイダンスで説明します。

3. 予防接種

事前授業又は参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。ヘルスクリニックが推奨する予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

ただし派遣先によっては予防接種が必須になる場合があるため、ガイダンス内の指示に従ってください。

4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し

① 次の条件に当てはまる場合は、教学部長が学生派遣の中止を判断します。

- 1) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報がレベル 2 以上である場合。ただし、新たな感染症の蔓延等により、感染症危険情報が発令された場合は、状況に応じて判断する。
- 2) 社会情勢を鑑み、プログラムを安全に実施できないと考えられる場合
2-1) 中止判断にあたり留意されることは、実習先での天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容・その他不可抗力に起因する事態が発生した場合等が想定されます。
- 3) 派遣先大学が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合

② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除くプログラムについては、参加を取り消された場合、成績は原

則として「F」評価となります。

- A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不相当と判断された場合
- B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
- C) 指定の海外旅行傷害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合
- D) 負傷・病気等で留学が適当でないと大学が判断した場合
- E) 不正行為を行った場合
- F) その他学生としての本分に反した場合

- ③ 受講が取り消された時点で既に発生している費用については、学生本人が費用を支払う必要があります。

5. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。なお、期日内に大学が指定した費用の支払いがない場合は辞退したものとして扱います。キャンセル料については、次項「6. キャンセル料について」を参照してください。単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

6. キャンセル料について

選考結果発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。

既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

7. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。

申請を希望するプログラムが、すでに修得済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

8. 個人情報の取扱いについて

詳細は、合格者あてにお送りする誓約書を参照してください。

9. プログラム参加にあたって

- ① プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。
- ② プログラム参加中は「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」および「Off-campus Study Program へ参加する学生のための危機管理ガイドライン」を遵守してください。

EXPLORE ・APU グローバルリサーチプログラムに参加するにあたっての遵守事項

1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program (以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学 (以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関 (以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険にプログラム期間に関わらず日本出国から日本帰国までの全ての渡航期間について加入すること。危機管理支援システム (J-TAS) にはプログラム期間を含み本学が指定する期間について加入すること。
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (7) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用 (実習費・宿泊費・交通費・保険料等) は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費 (派遣先から本学に請求された必要経費を含む) を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3. (2) と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。
- (8) 大学に事前に申告した日本出国日から日本帰国日までの期間以外での行動は本学の責任ではなく、すべて参加者本人の責任において行動すること。

4. 入国・帰国

- (1) 日本からの出国および帰国日ならびに途中の旅程を予め本学に提出すること。
- (2) 予め、本学に提出した旅程を理由なく変更しないこと。変更した場合は、変更した旅程を本学に提出すること。

5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

誓約書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項・シラバスおよび別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。また、大学に事前に申告した日本出国日から日本帰国日までの期間以外の行動は、全て私の責任において行動することを理解しています。申請書やその他提出書類に記載した個人情報（氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報）は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者（派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国（日本、参加学生の母国、派遣国）の在外公館及び政府機関）に提供されることに同意します。

本人記入欄

日付 _____

学生本人署名 _____ ※「描画」で署名（入力不可）

学籍番号 _____

参加プログラム APU グローバルリサーチプログラム（派遣先国： 韓国 イギリス ベトナム）

学部 （ APM / APS ）

回生 （ 1 / 2 / 3 / 4 ）

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

保証人記入欄

■私は、募集要項・シラバス及び別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。また、プログラム参加において本人が負担する一切の債務については、プログラムに要する費用を限度額として保証いたします。

日付 _____

保証人署名 _____ ※「描画」で署名（入力不可）

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

電話番号 _____

本人との関係 _____

【以下のいずれかに該当する場合は、本誓約書を受理いたしません。】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの当人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合